

# Tobu通信

鳥取県教育委員会事務局  
 東部教育局  
 〒680-0846鳥取市扇町21番地  
 東教発 H30.9.3 №151  
<http://www.pref.tottori.lg.jp/t-kyoiku/>

## 生徒を主人公とした学級、学校づくり

鳥取市立千代南中学校



千代南中学校では、開校した5年前から「学級力向上プロジェクト」を実施しています。R-PDCAサイクルに沿い、生徒が主人公となって学級の様子をセルフ・アセスメントし、実践的な仲間づくり活動を行うことを通して、生徒の主体性・自主性、対話力・人間関係調整力を育む取組が進められています。

### 学級力向上プロジェクトの流れ

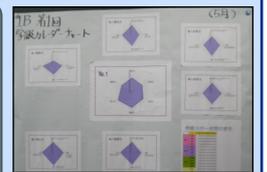
#### R: 学級力アンケート (6領域24項目)

- ・目標達成力
- ・自律力
- ・対話創造力
- ・協調維持力
- ・安心実現力
- ・規律遵守力



#### P: スマイルタイム

生徒が中心となってレーダーチャート进行分析し、スマイルアクション(「良いところはさらに伸ばす」「課題は解決する」ためのプラン)を話し合い、決定する。



レーダーチャート

これを年4回くり返します

#### CA: 班長会・終学活等での振り返り

取組状況についてチェックする。うまくいっていない場合は、改善策を立てる。



#### スマイルアクションの例

|   |                                 |
|---|---------------------------------|
| <p>2A 学習条例</p> <p>学習中の学習に加盟していること以外はしゃべらない</p> <p>発言している人の方を向く</p> <p>けしめを付ける(休憩時間との切り替え)</p> |                                 |
| <p>「学級憲法制定」クラスが繋がるためのきまりづくり</p>   | <p>「炎陣トーク」本音と笑顔で繋がるクラスをめざして</p> |



#### D: スマイルアクションの実行



スマイルタイム



職員室内の様子

このプロジェクトを持続可能な取組とするために、学校経営方針や分掌、学年、学級経営構想への位置付け、各活動との関連付け、全クラスのレーダーチャートやスマイルアクションの「見える化」(職員室内、生徒玄関前)など、徹底した共通理解が図られています。

「学級に支えられることで個が育ち、個の成長が学級を発展させる」という相互作用で学校は成長する」ということが実感できる取組であり、プロジェクトが色褪せないよう努める教員の強い思いや団結力があって成り立つものです。生徒を主人公とした学級、学校づくりには、脇役に徹して支え励ます教員の姿があります。昨年度より、生徒会が中心となって、授業改善や学力向上を目的とした「学校改善プロジェクト」も始動しました。生徒と教員の二人三脚による取組の成果が期待されるところです。

## 豊かな実りに向けて

局長 吉川 誠司



夏休みが明け、2学期(前期後半)が始まりました。小学校では、修学旅行や学習発表会等、中学校では、運動会や文化祭等の学校行事がたくさんある時期がやってきます。また、教育研究においては、これまでの研究の集大成である授業研究会や研究発表会の開催が各地域で予定されていることと思います。

これらは、いずれもこれまで取り組み、準備してきたこと、積み上げてきたことの成果を発揮したり、表現したりする場(機会)です。当日に、子どもたちの一番良い場面が見られ、各行事が成功するにこしたことはありません。しかし、最も大切なことは、当日までのプロセスとさらにその先にある姿ではないでしょうか。見栄えや体裁を整えることではなく、めざす子どもの姿を明確に持ち、日々の授業や活動を大切に取り組むことが何より重要です。

そこで、確認したいのがカリキュラム・マネジメントとそのサイクルです。目的・目標のために講じてきた手立てや方策はどうか、有効性はあるか、うまくいかないときに新たな方策や手立てを追加する改善のサイクルにどう結びつけるのか等を全職員で確認し取り組んでいきましょう。

暑い夏を乗り越えたこの秋、各学校・園できっと豊かな実りがあることでしょう。

# 学力向上を支える「家庭学習の質の向上」

～ 東部地区「地域課題に応じた学力向上推進事業」～

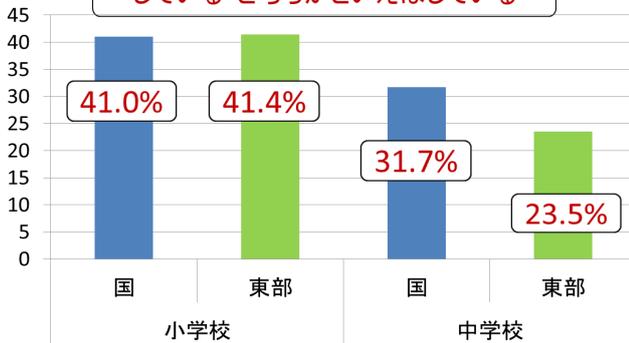
全国学力・学習状況調査の結果から、家庭学習の充実にに向けた取組を行っている学校は、平均正答率が高い傾向にあることが分かっています。しかしながら、東部地区の学校では、家庭学習に関する質問項目において、全国に比べて低い項目が見られます。東部教育局では、「地域課題に応じた学力向上推進事業」を実施し、東部地区全市町において、家庭学習の質の向上をめざした取組を進めています。

## 家庭学習に関わる質問項目について (H29全国学力・学習状況調査より)

### 児童生徒質問紙

家で、学校の授業の予習をしていますか

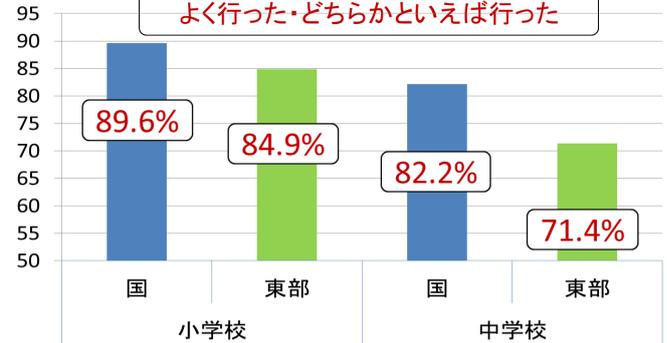
している・どちらかといえばしている



### 学校質問紙

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか

よく行った・どちらかといえば行った



## 地域課題に応じた学力向上推進事業「家庭学習の質の向上」(H30年度～H32年度)

事業実施中学校区における「授業改善」や「家庭学習」について、その現状や課題を検討し、その解決に向け、市町教育委員会、学校、家庭が連携した実践研究を推進しています。

### 主な「◆現状・課題」「⇒解決策」

◆学力差や学習意欲の差により、取り組み方に個人差がある。  
⇒主体性の高まる、より個に応じた家庭学習を工夫しよう。

◆家庭学習の習慣を含め、学びに向かう姿勢を高めたい。  
⇒キャリア教育の視点も交え、学びの見通しを持たせよう。

◆個々の教員の判断で家庭学習を与えている。  
⇒家庭学習の目的や系統性を考えよう。

### 事業実施中学校区 5中学校区 15校

- ・鳥取市 青谷中学校区
- ・岩美町 岩美中学校区
- ・八頭町 八頭中学校区
- ・若桜町 若桜学園中学校区
- ・智頭町 智頭中学校区

◆小中の接続をよりよくし、学習意欲を高めたい。  
⇒各発達段階で取り組むべき事柄を小中で共有し実践しよう。

◆宿題をこなすだけに終わっている。主体的に学ぶ姿勢を。  
⇒授業改善を通して授業と連動した家庭学習を工夫しよう。

### 東部教育局による支援

各市町担当者や各学校と連携を図り、事業実施校対象の「連絡協議会」や「研究機関視察」、東部地区全ての学校を対象とした「学びの質向上研修会」、各市町の取組の支援等を行っています。



学びの質向上研修会

授業力向上に向け、各学校で計画的に授業研究が取り組まれている一方、家庭学習については、事業実施中学校区と同様な現状や課題を感じている学校があるのではないのでしょうか。授業改善の推進とともに、家庭学習の質の向上にも視点をあて、自校及び中学校区で共通の実践を行うことで児童生徒の主体的な学びを深め、学力向上につながることが期待されます。

## 学事コーナー

## 退職後の再任用について

近年、鳥取県東部の小中学校においては、ベテラン教員が大量に退職し、学校現場は急速に世代交代が進んできています。これまで、現場において先輩教員から若手教員へ実践的な知識と技能が伝承されてきたところですが、今後は、伝承が困難になることが予想されます。また、公的年金の給料比例部分の支給開始年齢が段階的に65歳へと引き上げられており、無収入期間も長くなってきている現状があります。これらの課題に応えるために、鳥取県では、教職員の再任用に努めてきているところです。東部においても、今後より多くの再任用を期待しています。

## 年金支給の開始時期

※●印のついた年度の誕生日後に支給開始

| 年度            | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30  | 31  | 32  | 33  | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 |
|---------------|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|
| S33. 4. 2生まれ～ |    |    |    |    |    |    |    | 60歳 |     |     | ●   |    |    |    |    |    |
| S34. 4. 2生まれ～ |    |    |    |    |    |    |    |     | 60歳 |     |     |    | ●  |    |    |    |
| S35. 4. 2生まれ～ |    |    |    |    |    |    |    |     |     | 60歳 |     |    |    | ●  |    |    |
| S36. 4. 2生まれ～ |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     | 60歳 |    |    |    |    | ●  |

退職後、●印のついた年度の誕生日後まで年金の支給がないため、無収入となる期間が生じます。

再任用者数（公立小中学校教諭）

## 勤務形態

|      | 任用形態  | H28         | H29         | H30         | 勤務形態                   |  |
|------|-------|-------------|-------------|-------------|------------------------|--|
|      |       |             |             |             | フルタイム勤務<br>週38時間45分の勤務 | 短時間勤務<br>週15時間30分～31時間までの範囲で勤務<br>※短時間勤務希望者が複数人いる場合に、定数配置上可能なペアを検討して学校へ配置されます。 |
| 県全体  | フルタイム | 11人<br>(2人) | 18人<br>(3人) | 29人<br>(8人) |                        |  |
| (東部) | 短時間   | 2人<br>(0人)  | 4人<br>(0人)  | 4人<br>(0人)  |                        |  |

## 再任用Q &amp; A

Q 1年間だけでも可能ですか？また、年齢制限がありますか？

A 可能。1年毎の発令で、任期の末日は、65歳に達する日以後における最初の3月31日まで。

Q 勤務条件等を教えてください。（教諭・養護教諭の場合）

A 下表参照（平成30年度現在）

|        | フルタイム                   | 短時間                                    | 参考（定数内講師）                       |
|--------|-------------------------|--|---------------------------------|
| 勤務内容   | 退職前の職員と同様               | 担任、部活動は困難                              | フルタイム職員と同様                      |
| 年次有給休暇 | 20日+前年の繰り越し分<br>(1月に付与) | 勤務日数及び勤務時間に<br>応じた日数<br>(1月に付与 4月に再計算) | 15日<br>前年度からの繰り越しはない<br>(4月に付与) |
| 給料月額   | 271,500円<br>※昇給はしない。    | フルタイム勤務の給料をもとに勤務時間に応じて決定               | 237,100円<br>(H30年度常勤講師の上限度)     |

Q 任用される場合の勤務地はどうなりますか？

A 現任校での勤務を基本。希望を尊重。勤務地は、本人内示（3月）の際に告知。

Q どんな手続きが必要ですか？

A 【9月】実施要項の通知 → 【11月】申込書の提出（書類選考） → 【2月】結果通知

Q 申込みをしても任用されない場合がありますか？

A 従前の勤務実績や健康状況による選考を行うが、本制度の趣旨を踏まえ、原則任用。

Q 一度退職した者でも再任用を申し込むことはできますか？

A 25年以上勤務して退職した者のうち、年齢が60歳から64歳までの者で、退職日の翌日から5年を経過しておらず、1年間継続して勤務することができる者は可。

## 社会教育 コーナー



# 地域に根付いた公民館活動

～ 東部地区における優れた地域づくりの実践 ～

昨年度、鳥取県から2つの公民館が優良公民館として文部科学大臣表彰を受け、その2館ともが東部地区の公民館でした。子ども達を含め、地域と広く結びついていることが大変評価されています。6月の東部地区社会教育関係者研修会、8月の全県社会教育関係者研修会でその実践が発表されました。地域づくりの中心である公民館の取組を紹介します。



## 鳥取市立日置地区公民館 「住民と歩む公民館活動」

日置地区の産業である和紙や農林業を生かし、公民館を中心として地域みんなで子ども達をわが子のように育てる「わしの子育成事業」を展開しています。年間を通し子どもが関わる事業を50以上も実施し、子どもが地域の大人に学ぶシステムを構築していることが評価されました。

### クリスマスパーティー

世代を越えたパーティー。子どもだけでなく、地域の人も一緒になって盛り上がります。



### ひおきサマーキッス

マスの掴み取り、バーベキューなど、親子で夏を楽しみます。



### わしの子楽団

地域を盛り上げるために子ども達で結成。文化祭や敬老会で発表します。



### 書初め教室と工作教室

子ども達が和紙を身近なものに感じられるように、青谷の伝統を伝えます。

## 岩美町立浦富地区公民館 「コスモスロードの軌跡」

平成10年の鳥取県景観賞受賞（県知事表彰）をきっかけに始まったコスモスロードの取組。平成12年から本格的に事業が始まり今年度で18年目となります。小学生や自治会、婦人会など様々な方が関わり、今では浦富地区民が一体となって取り組み、地域の活性化に結びついていることが評価されました。



### 全長約1kmコスモスロード満開

きれいなコスモスに囲まれてみんなが笑顔になります。



### 種蒔き

岩美北小学校の児童も一緒になって種を蒔きます。



### 除草作業

きれいな花が咲くよう、地域住民も参加して草取りをします。



### 種の収穫

来年再び咲かせるために大切に保管します。



### かかし登場

住民が自治会ごとにかかしを作成。ポルトや瑞風など様々なかかしで盛り上げます。

どちらも、公民館が中心となり地域住民と一緒に様々な活動に取り組んでいます。公民館任せではなく、企画・運営にも地域の方が進んで関わっています。これぞ「地域の力」です。地域の抱える課題は様々ですが、両公民館の取組から見えるのは、地域みんなで楽しんで取り組んでいる姿です。「継続は力なり」ですが、続けるには楽しんで取り組むことが何より大切ではないでしょうか。楽しみながら、子どもも大人も一緒に取り組むことで世代間交流ができ、それが地域の活性化に繋がります。